

保育計画成果報告書

法人名等	学校法人 田原坂学園
施設名	植木中央幼稚園
報告者（役職）	衛藤 雄二（副園長）
住所・連絡先	熊本県熊本市北区植木町舞尾544-2 ☎ 096-272-0672 E-mail uekichuo@arion.ocn.ne.jp

○タイトル（保育計画）

キーボードを取り入れた発表会で、心を磨く保育を

○主な助成備品

YAMAHA ミニキーボード 125 台

1. 保育計画策定の目的

植木中央幼稚園では「心を磨く」幼稚園教育として運動会と発表会には特に力を入れています。運動会ではマーチング、発表会では楽器の演奏を行います。昨今、新型コロナウイルスの影響で、鍵盤ハーモニカは特に感染を拡大させる可能性が高いとされており、文部科学省の通達で原則禁止とされました。

植木中央幼稚園では、発表会での鍵盤ハーモニカは大多数の子どもたちが演奏してきた保育であり、子どもたちの「心を磨く」保育を行う上で、形が変わっても継続をしたいと考えていました。

今回、第一生命財団様の助成をいただくことで、鍵盤ハーモニカに近い「キーボード」を導入でき、年少・年中・年長クラスで使用し、「キーボード」で、質の高い「心を磨く」保育を実現するという目的を掲げました。

また、「キーボード」には、多くの音色、音楽演奏機能、ベースのリズム、音の調整など機能が豊富です。おそらく子どもたちは「このボタン気になる！押してみたい」「触ってみたい」という衝動を我慢することを求められると思われます。「誘惑を自分自身のかで我慢して抑え込み、やるべきことをみんなと協力してやるんだ」という非認知の大切な能力が磨かれる可能性を考えました。

2. 具体的な実施内容



9月から12月にかけて、発表会に向けて練習を重ねました。

発表会と一言で言っても、植木中央幼稚園では「合唱」「合奏」「演技」の3つを1日で披露します。

先生がピアノを使用しながら、子どもたちは単音、和音の聞き取り、キーボードの演奏に取り組みました。また、最終学年では器楽合奏を行い、より表現豊かな演奏を通して成功体験を得られるように子どもたちに指導しました。

当初想定していました「このボタン気になる！押してみたい」「触ってみたい」という衝動を我慢する能力の向上についてですが、写真3枚目の年少クラスでは「ボタンを触ってはいけない」ではなく「(ボタンを隠した)紫色の紙を触ってはいけない」ということから始めました。写真4枚目の年長クラスでは紙でカバーすることはせずに「ボタンに触らない」ことを指導しました。

3. その成果と評価



2021 年

年少組：ゆびあそびの歌、キラキラ星

年中組：エーデルワイス

年長組：レイダースマーチ（インディージョーンズ）

2022 年

年少組：ゆびあそびの歌、キラキラ星

年中組：線路は続くよどこまでも

年長組：彼こそは海賊（パイレーツオブカリビアン）

今回購入させていただいたキーボードをはじめ、ティンパニーや木琴・鉄琴、大太鼓、シンセサイザーなど、子どもたちは興味津々ながらも最初は全くできませんでした。練習を重ねるにつれ、少しずつできるようになっていき、担任からの指導や励ましを受けながら、少しずつ自信が生まれ、生き活きとした表情になり「がんばったらできるんだ」「がんばってできるってたのしい」という思いに変わっていったと確信しています。「今日も練習をしたい」と自発的に行動しだし、子どもたち同士で教え合うようになりました。

また、今回のキーボード導入に関して、「やってはならないことはやらない」「誘惑を自分自身のなかで我慢して抑え込み、やるべきことをみんなと協力してやるんだ」という非認知能力の磨きという点で効果はてきめんだったと考えます。

コロンビア大学の心理学者が、スタンフォード大学の幼稚園に通う 200 人の 4 歳児を対象に実施したテスト「マシュマロ・テスト」では「目の前にあるマシュマロを食べずに待てれば、もう 1 つマシュマロをあげる」という形で、子供の行動を観察する研究がなされまし

た。その結果に応じて、将来子ども達がどのように育っていくのかまで追っている研究で当時の結果では、3分の1の子どもは食べずに待ち、3分の2の子どもは食べてしまうという結果で、その後の調査で、食べるのを待つことができた、自制心を発揮した子どもたちは下記のように育っていったということがわかっています。

- 小学校での成績がよく、問題行動も少ない
- 中学校では先生と良い関係をもち、高校での偏差値も高い
- 大学を4年間で卒業して、正社員の職を得る確率が高い

導入させていただいた「キーボード」についている、押したくなるような魅力的なボタンを、結果的に誰一人押すことはなかったと報告を聞いております。

今後の子どもたちの健やかな成長をさらに一層願い期待しています。

4. 今後の課題と展望

文部科学省の通達で原則禁止とされた鍵盤ハーモニカに代わる楽器として導入させていただいた「キーボード」は、植木中央幼稚園が大切にしている、子どもたちの「心を磨く」保育を行うことを可能にしてくれました。また、それに加えて「キーボード」に付属された様々な魅力的なボタンを押すことを我慢する「心の強さ」を子どもたちは培うことができたのではないかと思います。

今後の課題としては、少しずつアフターコロナとして、鍵盤ハーモニカが復活してくる中で、鍵盤ハーモニカの良さを取り入れつつも、指の練習には「キーボード」を引き続き活用し、非認知能力の向上も併せて行えるような取り組みを継続していくことが望ましいのではないかと考えております。

以上